

九州大学 先導的学術研究拠点
浅海底フロンティア研究センター
シンポジウム

最先端の浅海底地形図づくりとその活用

— 沿岸域の科学的理解と利用に向けて —

2018年1月20日 (土) 13:00~17:00
九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂 大ホール

入場無料

第1部 浅海底の地形図づくり —産学官の取り組み—

マルチビーム測深等を用いた浅海底の地形図づくりとその学術利用

菅 浩伸 (九州大学 浅海底フロンティア研究センター、九州大学 地球社会統合科学府)

航空レーザー計測による浅海底地形の三次元計測
寺岡 仁子 (アジア航測株式会社 計測技術部)

浅海域の水路測量 —新しい調査技術と海図の話—
松本 良浩 (海上保安庁 海洋情報部)

第2部 浅海底地形図の活用 —民間利用と学術展開—

浅海底地形図を使った沖縄海底遺跡ミュージアム構想
中西 裕見子 (大阪府教育庁 文化財保護課)

海底地形図の学際研究活用と日豪共同研究
プロジェクトJASAG

藤田 和彦 (琉球大学 理学部)

地図を使って多様性の中に秩序を見いだす
—ダーウィンの時代からの試み—

堀 信行 (首都大学東京 名誉教授)

RESEARCH CENTER FOR

Coastal Seafloor

KYUSHU UNIVERSITY

Photography © Hironobu Kan

本シンポジウムは下記科研費の成果の一部です。
平成28~32年度 科研費 基盤研究 (S) 16H06309
浅海底地形学を基にした沿岸域の先進的学際研究 —三次元
海底地形で開くパラダイム— (研究代表者: 菅 浩伸)